

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
栄養教育論実習	3年次	必修	実習	1単位（45時間）	樺澤 禮子
授 業 概 要					
<p>栄養学の社会的実践の一形態としての栄養教育実習を行う中で、習得した知識や技術の総合化を試みる。具体的に設定した学習者の条件に対応し、かつ、健康教育、栄養教育、ヘルスプロモーション等の理論をふまえた教育目標を立て、学習案を立案、実施、評価をロールプレイング等による実習を行う中で学習する。また、栄養教育手法を習得し、栄養教育の実際を学ぶ。</p>					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> ・食や健康に関する知識、態度、具体的な技術、食生活の実態把握やプライオリティの高い問題点を抽出する力をつける。 ・学習目標を決め、それにあった学習内容、及び方法を選ぶ力、目的・目標にあった評価ができる。・栄養学の専門家としての栄養教育の考え方、支援のあり方を習得する。 					
回	学 習 内 容				担当教員
1・2 3・4 5・6 7・8 9・10 11・12 13・14 15・16 17・18 19・20 21・22 23・24 25・26 27・28 29・30	<p>オリエンテーション：実習の進め方、栄養教育手法の実際① 栄養教育手法の実際② アセスメント1：基礎資料の収集・整理・テーマ設定 アセスメント2：情報の再収集 栄養教育計画1：栄養教育計画書の作成① 栄養教育計画2：栄養教育計画書の作成② 栄養教育計画3：栄養教育計画書の作成③ 栄養教育計画4：教材作成① 栄養教育計画5：教材作成② 栄養教育計画6：教材作成③ 栄養教育計画7：グループ内リハーサル実効性の検討① 栄養教育計画7：グループ内リハーサル実効性の検討② 発表 ロールプレイング① 発表 ロールプレイング② 学習のまとめ</p>				樺澤 禮子
学 習 方 法					
グループ学習を中心として進める。各ライフステージ別の集団栄養教育をロールプレイングで発表する。					
評 価 方 法					
<p>[評価方法] 学習意欲・態度、発表、提出物等で総合的に評価する。</p>					
先 修 科 目					
教 科 書、参 考 書					
<p>[教科書] ワークシートですすめる栄養教育・食育実習ノート 群羊社 サクセス管理栄養士講座 栄養教育論 第一出版</p> <p>[参考書] 食事バランスガイド 第一出版</p>					